



笑顔で“できる”

令和6年8月9日第7号
長浦小学校 校長 丸山朋子

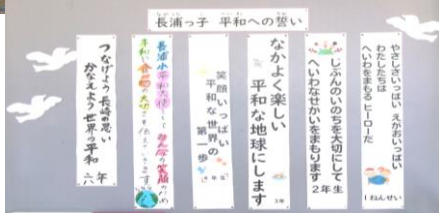
残暑お見舞い申し上げます。

44日間の夏休みも21日目。ペーロン大会でいうと、「折り返し」にさしかかったところでしょうか。

子どもたちは、「やりたいと思ったこと」「やらなければならないこと」を行動にうつし、自分が思い描いた夏休みを過ごしているのでしょうか。今、ここで「方向を決める舵取り(=かじとり)」と「前に進む糧さばき」を見直して、「こんな夏休みにしたい!!」という思いの実現に向けて自分の船を進ませてもらえることを願います。

ご家族、地域の皆様、夏休みの後半も子どもたちをどうぞよろしくお願いします。

7月17日 5・6年生ペーロン体験 一人一人の力が総力となって前へ...地域の皆さんお世話になりました。



各学年の「平和の誓い」

子どもたちは、友達や先生と学んだことや思いをもとに、言葉に表して伝えあいました。「長浦っ子の平和の誓い」です。そして、心を込めて折った鶴を飾り、声を合わせて歌いました。

5年生は、被爆体験講話で学んだことや、資料館・原爆遺構の見学学習で知ったこと・考えたこと等を各学年に分かりやすく伝えるように内容を工夫し、教室に出向いて伝えました。

「どんなことを伝えようかな」「こんな伝え方がわかりやすいのでは…」聞き手に合わせて工夫した5年生。「長浦小平和大使」として、どのように学びを進め発信していくのか、期待が高まりました。

○長浦小学校は、コミュニティスクールです。

長浦小学校は、昨年度7月、定例教育委員会において、長浦小学校はコミュニティ・スクールとして承認されました。

同年9月20日に、学校運営委員のみなさんが出席し、第1回の話し合い(=学校運営協議会)が行われ、コミュニティ・スクールとして本格的にスタートしました。

2年目を迎える本年度、委員のみなさんから、長浦小学校が「コミュニティ・スクール」であることを、もっともって保護者のみなさん、地域の方々に「伝え・知らせることが大切」とのご意見が多く出されました。

また、「コミュニティ・スクール」の認知度は、まだ高いとは言えず「そもそもコミュニティ・スクールって何なのかな?」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。私自身、まだまだ勉強の途中の段階です。

というわけで、この学校だよりの紙面の中で、「コミュニティスクール」について、さらに、長浦小学校コミュニティ・スクールについて、今後取り上げさせていただこうと思います。皆さんに読んでいただけるととても嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。



3年生スイカの収穫

最高14kg。とてもおいしいスイカでした。感謝していただきました。